

## 1 「何を、どう学ぶか」がひと目で分かる構成

—— 行書の主要教材を4ページ構成とし、学習の進め方を分かりやすく示しました。

中学校で初めて学習する行書の主要教材は4ページ構成とし、基礎・基本をしっかりと習得できるようにしました。学習の内容と活動の流れを分かりやすく示し、全教材に、学習のポイントがひと目で分かる「学習の窓」を設定しました。



p.58-61「点画の変化」

毛筆の教材文字は半紙原寸大で掲載し、書きやすさにも配慮しました。

見通しをもって主体的に学べるよう、全ての学習ページに「学習の進め方」を示しました。



二次元コードを読み取ると、運筆動画を閲覧することができます。

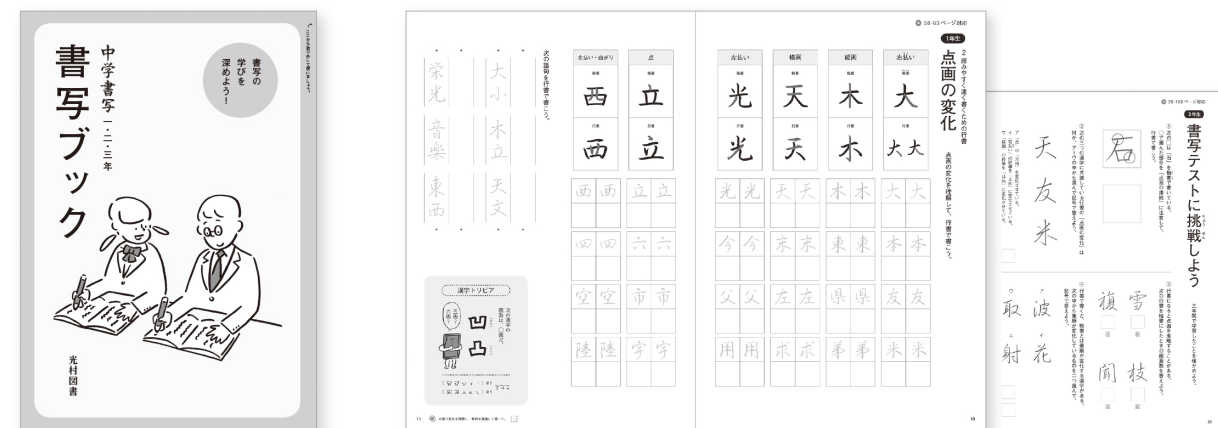


動画「大木」の筆使い

## 2 「書写ブック（硬筆練習帳）」で書く力の定着を図る

—— 教科書に完全準拠した28ページの硬筆練習帳を新設しました。

綴じ込みの「書写ブック」には、毛筆の教材文字と同じ学習要素をもつ豊富な硬筆課題を設定しました。必要に応じて既習事項を確認しながら、書写の基礎・基本を確実に身につけられる構成となっています。



p.1-28「書写ブック」

## 3 文字文化の豊かさに触れる、多様な教材

—— 「全国文字マップ」他、さまざまな角度から生徒の興味・関心を喚起します。

日常に見られるさまざまな文字（手書き文字や活字）を取り上げ、文字文化の豊かさを理解し、生徒の社会生活における文字への意識を引き出せるよう工夫しました。



p.92-95「全国文字マップ」

p.98-99「UD（ユニバーサルデザイン）書体って何だろう」

## 4 学習をサポートする、豊富な動画資料

—— 用具の準備・片付けから、運筆動画まで。

教科書紙面に「二次元コード」がある教材では、スマートフォンやタブレットを使って、動画資料を見ることができます。「用具の準備・片付け」では、スムーズに用具の出し入れを行う手順を分かりやすく解説しています。

教科書運動コンテンツ

